



『新刊が×××なのは売り子のせいです 2』

編集長 川俣のレビュー

面白さ	★★★★☆
エロさ	★★★★★
ストーリー性	★★★★☆
何度も	★★★★★

■感想

前作からずっと待っていた続編。読み終えた瞬間、胸がいっぱいになってしばらく動けませんでした。えっちな作品なのに、こんなにも感情を揺さぶられて泣いてしまうなんて正直初めてです。二人の表情や間の取り方、触れる前の躊躇いなどが丁寧に描かれていて、ページをめくるたびに「大切に想っている気持ち」が伝わってくるのが本当にすごい。

濃密で熱のこもったシーンも、ただ刺激的なだけじゃなく、心と心が近づいていく過程として描かれているからこそ深く刺さります。両想いのもどかしさ、不安や過去を抱えたままでも相手を選び続ける強さ、その全部が愛おしい。ぜひ前作から通して読んでほしいし、二人の軌跡を知った上で迎える今作のラストは格別です。この作品に出会えたこと自体がご褒美。続きがあるなら、また全力で待ちます。

『新刊が×××なのは売り子のせいです 2』
を今すぐ立ち読み